

# 令和5年度事業報告書

令和5年4月～令和6年3月

公益社団法人  
愛知県医師会

## 事業に関する報告書

令和5年度の本会会務の運営並びにその事業の実施状況は、その都度「愛知医報」等でご報告をいたしました。

その大要は次の通りであります。

### ○ 庶務に関する事項

#### 1. 会員の異動

入 会	982 名	(県内異動も含む)
退 会	685 名	( " )
死 亡	73 名	
現在会員数	10,819 名	<別表1 参照>

(令和6年3月31日現在)

#### 2. 文書の收受、発送

収 受	9,865 件
発 送	268,703 件

#### 3. 会員の栄誉

(1) 令和5年春の褒章・叙勲者に対し記念品を贈り栄誉をたたえました。

瑞宝小綬章	野 口 宏 殿
旭日双光章	杉 田 洋 一 殿
旭日双光章	稲 坂 博 殿
瑞宝双光章	鈴 木 孝 彦 殿

令和5年秋の褒章・叙勲者に対し記念品を贈り栄誉をたたえました。

瑞宝小綬章	宮 本 忠 壽 殿
旭日双光章	西 山 朗 殿

(2) 令和5年愛知県医師会表彰規程による被表彰会員に記念品を贈り表彰いたしました。

春日井市	隈 井 知 之 殿
豊 橋 市	山 内 智 之 殿
豊 橋 市	横 井 尚 殿
豊 田 加 茂	伊 藤 直 史 殿
豊 田 加 茂	高 橋 昌 久 殿
愛 医 大	福 澤 嘉 孝 殿

(3) 令和5年難病の学術的研究の功績に対し記念品を贈り表彰いたしました。

藤田医科大学

腎臓内科学 教授

坪井 直毅 殿

名古屋大学大学院

眼科学 教授

西口 康二 殿

名古屋市立大学大学院

公衆衛生学 准教授

西山 毅 殿

名古屋医療センター

臨床研究センター 生物統計研究室長

橋本 大哉 殿

#### 4. 物故会員

本年度(令和5年4月～令和6年3月届出分)の物故会員は73名でありました。(別表2 参照)

謹んでご冥福をお祈りいたします。

○ 事業に関する事項

1. 会 議

(1) 代議員会 2 回

- ◆ 愛知県医師会第194回(定例)代議員会を令和5年6月17日(土)愛知県医師会館において開催し、次の議事を行いました。なお、今回は新型コロナウイルス感染症の発生状況を考慮し、感染症対策として愛知県医師会館9階大講堂と8階会議室の2会場に分けて開催しました。

報 告

(1) 令和4年度事業報告

議 事

第1号議案 令和4年度決算に関し承認を求めるの件

第2号議案 愛知県医師会館建設に関し借入限度額の承認を求めるの件

協 議

- ◆ 愛知県医師会第195回(臨時)代議員会を令和6年3月16日(土)名古屋国際会議場において開催し、次の議事を行いました。

報 告

(1) 令和6年度事業計画報告

(2) 令和6年度予算報告

(3) 令和5年度愛知県医師会館建替計画の進捗状況報告

議 事

第1号議案 令和6年度会費の賦課徴収に関する件

第2号議案 令和6年度会費減免申請に関する件

第3号議案 令和6年度入会金の賦課徴収に関する件

(2) 理事会 38 回

- ◆ 原則毎月第1木曜日を除く第2～第5木曜日に開催。

内容については、その都度、愛知医報・ホームページ(情報公開)に掲載いたしました。

(3) 各種委員会・部会・協議会・その他

・ 医学教育の向上	
「現代医学」誌編集委員会(Web会議 2回)	2 回
「現代医学」誌座談会	2 回
指導医のための教育ワークショップ	1 回
治験審査会	12 回
倫理委員会(書面開催 1回)	3 回
臨床研究の倫理に関する研修会	1 回
・ 医師の生涯教育	
生涯教育委員会(Web会議 1回)	1 回
・ 医療政策・医事法・医業経営の調査・研究 (調査室)	
調査室委員会(Web会議 20回)	20 回
調査室委員会勉強会	1 回
保険医協会との懇談会	6 回
(愛知県医師会地域医療政策研究機構)	
愛知県医師会地域医療政策研究委員会	7 回
・ 公衆衛生の指導啓発	
健康教育委員会(Web会議 4回)	4 回
環境衛生委員会(Web会議 4回)	4 回
感染症及び結核講演会	1 回
感染症(HIV医療講習会)・予防接種研修会	1 回
愛知県広域予防接種事業運営委員会(Web会議 6回)	6 回
・ 地域医療の推進発展	
四大学連絡協議会	1 回
愛知県地域医療構想推進委員会	2 回
地域医療構想の進め方に関する研修会	2 回
難治性疾患委員会(Web会議 1回)	1 回
難病講習会	1 回
難病講演会	1 回
警察部会幹事会	1 回

麻薬等に関する懇談会	1 回
勤務医部会幹事会(Web会議 5回)	6 回
愛知県糖尿病対策推進会議(Web会議 1回)	1 回
愛知県糖尿病対策推進会議 学術講演会(Web会議 1回)	1 回
小児在宅医療推進企画委員会(Web会議 3回)	3 回
小児在宅死亡例検討ワーキンググループ(Web会議 3回)	3 回
あいち小児在宅医療実技講習会	1 回
尾張東部小児在宅医療講習会	1 回
名古屋小児在宅医療講習会	1 回
せん妄対策研修会	2 回
摂食・嚥下機能支援に関する研修会	1 回
在宅医療・介護連携推進事業ネットワーク会議(Web会議 2回)	2 回
・ 救急医療・災害医療対策	
救急委員会(Web会議 8回)	8 回
愛知県医師会無線システム災害想定訓練	7 回
救急医療・災害医療シンポジウム	1 回
愛知県救急医療推進大会	1 回
災害時・災害訓練に役立つトリアージ研修会	1 回
愛知県医師会ICLS研修会	1 回
愛知県災害医療コーディネート研修	1 回
愛知県医師会PTLS講習会	1 回
小児救急に関する研修会	2 回
こどもの命を守るために事故防止と乳幼児心肺蘇生セミナー	1 回
小学生のための救急蘇生法講習	22 回
小児救急連携体制協議会	3 回
先天性心疾患の診療体制を検討する会	2 回
・ 地域保健の向上	
産業保健部会幹事会(Web会議 6回)	6 回
学校保健部会幹事会(Web会議 4回)	4 回
学校保健部会学校健診委員会(Web会議 4回)	4 回
学校保健部会学校健診委員会(小)委員会(Web会議 1回)	1 回

学校保健健診懇談会	1 回
学校保健シンポジウム	1 回
心電図精度管理調査解析検討会	1 回
令和6年度定期健康診断における精度管理説明会	1 回
小児CKD(慢性腎臓病)対策講習会	1 回
母体保護法指定医師審査委員会(Web会議 6回)	6 回
母体保護法指定医師講習会	2 回
・ 医療保険・介護保険の充実	
(医療保険関連)	
社保集団指導講習会並びに医療安全説明会(未受講者対象含む)	4 回
社保指導委員会(Web会議 6回)	6 回
(介護保険関連)	
地域医療介護委員会(Web会議 6回)	6 回
保健・医療・福祉の連携強化に関するシンポジウム	1 回
認知症地域医療研修検討委員会(Web会議 6回)	6 回
医療従事者の認知症対応力向上研修	3 回
かかりつけ医認知症対応力向上研修	2 回
認知症サポート医フォローアップ研修	1 回
産業医向け若年性認知症支援研修	1 回
認知症対応病院ピアレビュー事前説明会	1 回
認知症対応病院ピアレビュー活動報告会	1 回
・ 医療安全対策の推進	
医療安全対策委員会	12 回
医療安全対策(小)委員会	4 回
医療安全に関する講演会	1 回
医療安全対策委員会勉強会	1 回
県民のための医療安全講演会	1 回
医療安全支援センター(苦情相談センター)委員会	12 回
医療安全支援センター(苦情相談センター)小委員会	2 回
医療安全支援センター(苦情相談センター)講演会	2 回
医療安全支援センター(苦情相談センター)事例検討会	2 回

愛知県医師会剖検システム運営協議会	1 回
愛知県医療事故調査等支援団体等連絡協議会	1 回
愛知県医療事故調査等支援団体等連絡協議会幹事会	2 回
愛知県医療事故調査等支援団体等連絡協議会幹事会(小)委員会	2 回
医療メディエーター研修	1 回
医療事故調査制度に関する研修会	2 回
医療事故調査制度コーディネーター養成研修会	1 回
医療事故調査制度コーディネーターブラッシュアップ研修会	1 回
医療事故調査制度に関するシンポジウム	1 回
・ 医療施設の整備	
精度管理委員会(Web会議 2回)	2 回
精度管理(小)委員会(Web会議 1回)	1 回
精度管理研修会	1 回
共同施設委員会(Web会議 1回)	1 回
・ 会員の福祉の向上	
愛知県医師会事業概要等説明会	1 回
会員相談窓口事例検討会	2 回
・ 医師会及び医療関連団体との連携・県民への広報活動 (渉 外)	
中部医師会連合常任委員会	13 回
中部医師会連合常任委員会懇談会	2 回
中部医師会連合日医代議員協議会	2 回
中部医師会連合委員総会	1 回
中部医師会連合社会保険特別委員会(Web会議 1回)	2 回
中部医師会連合地域包括ケア特別委員会(Web会議 1回)	2 回
中部医師会連合勤務医特別委員会(Web会議 1回)	2 回
中部医師会連合女性医師支援ドクターバンク連携事業中部ブロック会議	1 回
中部医師会連合災害医療担当理事連絡協議会	1 回
中部医師会連合共同利用施設連絡協議会	1 回
関西医師会連合常任委員会	1 回



(IT化対策)	
ホームページ・IT化対策委員会(Web会議 4回)	4 回
情報セキュリティ研修会(Web会議 1回)	1 回
(広 報)	
広報委員会(Web会議 12回)	12 回
報道関係者との懇談会	3 回
・ 医師・医療従事者対策	
(勤務環境改善支援)	
愛知県医療勤務環境改善支援センター運営協議会(書面開催 1回)	3 回
医療機関に対する働き方改革セミナー	3 回
労務管理説明会	2 回
(医師確保対策事業の推進)	
男女共同参画委員会(Web会議 5回)	5 回
医学生、若手医師と地域医療を考える会(Web会議 1回)	1 回
愛知県医師会 研修医ウェルカムパーティ	1 回
(医療従事者対策)	
医療関連職検討委員会(Web会議 1回)	1 回
愛知県看護協会との懇談会	1 回
学校法人電波学園あいちビジネス専門学校 <sup>の</sup> 日本医師会認定医療秘書養成に関する運営委員会	1 回
医療事務員講習会	15 回
医療事務員資格認定試験	1 回
・ 会務運営・総務・財務	
県下医師会長等協議会	8 回
議事運営委員会(Web会議 2回)	2 回
人事委員会	7 回
選挙管理委員会	1 回
監事会	1 回
臨時監事会	1 回
監事打合せ会	1 回
・ その他	
DX推進プロジェクトチーム会議	3 回

愛知県医師会館建設委員会

3 回

愛知県医師会館建設小委員会

18 回

## 2. 業 務

### (1) 諸調査の実施

- 1) 救急患者実態調査
- 2) 休日診療所における救急患者実態調査
- 3) 4月29日(土・祝)～5月7日(日)における休日急病診療所の実態調査
- 4) 令和5年度お盆期間中(8月11日(金・祝)～15日(火))における休日急病診療所の実態調査
- 5) 令和5年度年末年始(令和5年12月29日(金)～令和6年1月3日(水))における休日急病診療所の実態調査
- 6) 急性期脳卒中に関するアンケート調査
- 7) 急性心筋梗塞に関するアンケート調査
- 8) 熱傷入院患者取扱実績報告
- 9) 中部7県・大都府県における個別指導等の状況に関するアンケート調査
- 10) 中部7県における個別指導の実施体制に関するアンケート調査
- 11) 在宅医療・介護連携推進事業の運営状況に係るアンケート調査
- 12) 在宅医療の提供と医療・介護連携に関する実態調査
- 13) 医療事故調査・支援センターへの報告に関するアンケート
- 14) 医療法上における医療事故調査制度に関するアンケート調査
- 15) 小児時間外救急の実態調査
- 16) 気管支喘息発作に関するアンケート調査
- 17) アナフィラキシーに関するアンケート調査
- 18) 愛知県における重症小児患者の診療実態に関する調査
- 19) 学校医・園医報酬調査
- 20) 愛知県立高等学校学校検尿(1次検査)における精度管理調査
- 21) 情報セキュリティに関するアンケート調査
- 22) 愛知県下における医療従事者の賃金に関するアンケート調査
- 23) 令和5年会員意識及び実態調査

### (2) 会報・医学雑誌その他の発行

- ・ 愛知医報
- ・ 「現代医学」誌 70巻1号・70巻2号(Web版・オープンジャーナル)

### (3) 医学教育の向上

#### ・ 現代医学

「現代医学」誌編集委員会において、「現代医学」誌70巻1号(6月30日発行)及び70巻2号(12月27日発行)の掲載内容を検討いたしました。また、70巻1号及び70巻2号は、オープンジャーナルとして本会ホームページ「医師の皆さまへ」において広く公開いたしました。

#### ・ スポーツ医学

- 1) 健康スポーツ医の養成とその資質向上を通して地域保健活動の一環である健康スポーツ医活動の推進を図るために、日本医師会が定めた講習科目に基づく健康スポーツ医学講習会を修了したと認められる医師に、日本医師会認定健康スポーツ医の認定証が交付されます。本会ではその新規・更新に係る手続きを行い、新規15名、更新74名が認定を受けました。
- 2) 各団体が実施する研修会において、日本医師会認定健康スポーツ医制度における健康スポーツ医学再研修会としての承認申請の手続きを行い、3件の認定を受けました。
- 3) 本会主催の日本医師会認定健康スポーツ医学再研修会を下記の通り2回行い、研修会の参加者には受講証明書を交付いたしました。  
9月12日(火) 愛知県医師会館 参加者:42名  
2月1日(木) TKPガーデンシティPREMIUM名古屋新幹線口 参加者:29名
- 4) 日本医師会運動・健康スポーツ医学委員会に委員として参加し、会長諮問事項「「健康スポーツ医学実践ガイド」と「運動・スポーツ関連資源マップ作成」を通じて促進する地域の多職種連携」について検討・協議いたしました。

#### ・ 治験推進事業

- 1) 先駆的な新薬開発に携わるという学術的な意義を会員に理解していただくことを目的として、臨床試験及び製造販売後臨床試験等の実施ネットワークを構築かつ推進するため、治験依頼者からの治験相談、治験実施医療機関の登録及び環境整備の支援を行いました。
- 2) 主として製薬会社主導の治験審査を行っており、会員治験実施医療機関が治験を安全かつスムーズに行えるよう、治験審査会を開催いたしました。

#### ・ 倫理委員会

- 1) 5月8日(月)に第1回倫理委員会を開催し、新規審査申請1件について協議いたしました。その結果、倫理的に問題となるようなことはないとの結論になり、第4回(定例)理事会において承認されました。
- 2) 第2回倫理委員会を書面にて開催し、研修会の内容について協議・検討し、開催することが決定いたしました。
- 3) 10月25日(水)に第3回倫理委員会を開催し、新規審査申請1件について協議いたしました。その結果、倫理的に問題となるようなことはないとの結論になり、第23回(定例)理事会において承認されました。
- 4) 臨床研究の倫理に関する研修会を1月20日(土)に昭和ビル9階ホールにて開催し、24名の参加者がありました。

#### (4) 医師の生涯教育

##### ・ 生涯教育

- 1) 「日本医師会生涯教育講座」を6月～11月に8回開催いたしました。(別表3 参照)
- 2) 令和5年度日本医師会生涯教育制度の単位申請にあたり、審査及び登録を行い、主催者から提出される報告書を基に、日本医師会全国医師会研修管理システムに受講実績を登録いたしました。

#### (5) 医療政策・医事法・医業経営の調査・研究

##### ・ 調査室

- 1) マスメディア・業界誌はもとより、日医・関係団体、国会・地方議員、行政、有識者等の幅広い人脈を活かし、医療問題に限らずそれに影響する国内外の政治情勢、経済動向などに関する情報を収集し、議論を重ねました。その上で、あるべき医療政策の実現に向けて必要な提言・要望を行い、安心・安全な医療提供体制を維持する上で、健全な医業経営に向けた環境整備が必要であるとの考えのもと、関係法令の解釈、診療報酬改定や税制改正に伴う影響等についても検証いたしました。
- 2) 日本医師会医業税制検討委員会に委員として参加し、税制要望、控除対象外消費税問題等について検討・協議いたしました。
- 3) 日本医師会医療経営検討委員会に委員として参加し、会長諮問事項「医療機関の医業経営における課題への対応」について検討・協議いたしました。
- 4) 愛知医報に医療関係制度を始め、近年注目される事項についての最新知見を調査室だよりとして掲載し、会員へ周知いたしました。
- 5) 愛知県医師会調査室委員会勉強会として2月3日(土)に「コロナパンデミックから医療は何を学ぶのか」をテーマに厚生労働省医務技監の迫井正深先生にご講演いただき、44名の参加者がありました。
- 6) 「令和5年 会員意識及び実態調査」を全会員10,850名(7月末時点)を対象に9月13日(水)より実施し、11月13日(月)までに2,757名より回答を回収いたしました。

##### ・ 愛知県医師会地域医療政策研究機構

7回委員会を開催し、新型コロナウイルス感染症・医療計画・地域医療構想・働き方改革・医師偏在対策等についての現状把握、今後のあり方や課題の解決方法の調査研究に努めました。

#### (6) 公衆衛生の指導啓発

##### ・ 健康教育

- 1) 健康教育委員会では、健康教育講座、あいち健康ナビの運営や広報活動等について検討・協議いたしました。
- 2) 県民を対象とした健康教育講座を各分科医会の協力のもと来場型講座として20回、ビデオ講座として2回開催し、全ての講座の内容をあいち健康ナビにて配信いたしました。(別表4 参照)
- 3) 県民向けに「誰もが・いつでも・どこでも」正しい健康情報を手に入れられるよう、愛知県の委託事業として、健康情報の総合サイト「あいち健康ナビ」を運用しております。セミナー、イベント情報の充実を図るため、県内の病院等、100機関(3月31日現在)に本サイトよりセミナーやイベント情報を発信する投稿団体としてご登録いただいております。

・ 環境衛生

- 1) 感染症、予防接種、環境保健、結核等対策について、県当局と連携し、地域医師会への情報提供を行いました。
- 2) 愛知県保健医療局健康医務部健康対策課、感染症対策局感染症対策課が主催する関係会議へ出席し、各種事項について検討・協議いたしました。
- 3) 日本医師会が開催する、改正感染症法等に基づく協定に関する説明会(TV会議)に本会役員が出席いたしました。
- 4) 日本医師会が開催する、診療所における新興感染症対策研修に本会役員2名が出席いたしました。
- 5) 結核・感染症対策講習事業として、名古屋市医師会・海部医師会・新城市医師会に事業を委託し、愛知県医師会でも12月16日(土)に令和5年度感染症及び結核講演会を開催し、136名の参加者がありました。
- 6) 公益財団法人エイズ予防財団の委託研修として、3月2日(土)に感染症(HIV医療講習会)・予防接種研修会を開催し51名の参加者がありました。
- 7) 新型コロナウイルス感染症対策について
  - ・ 新型コロナウイルス感染症の行政検査の集合契約について、4月から5月7日までの期間で改めて集合契約を締結し、2,829医療機関が参加いたしました。
  - ・ 愛知県が設置する「軽症者等が療養を行う宿泊施設」のオンコール体制に、4月から5月7日までの期間で本会役員が分担をして、延べ12名の医師が対応いたしました。
  - ・ 愛知県および政令市・中核市が実施する「新型コロナウイルス感染症自宅療養者等への医療提供事業」において、事業が終了する9月30日まで協力可能医療機関の登録手続きの窓口として対応いたしました。
  - ・ 愛知県が開催する、愛知県新型コロナウイルス感染症対策本部会議に本会より出席いたしました。
  - ・ 日本医師会が開催する、都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会(TV会議)に本会役員が出席し、また、本会Web会議システムを利用して地区医師会へ配信いたしました。

・ 広域予防接種事業

- 1) 愛知県広域予防接種事業運営委員会では、間違い報告への対応、今後の対象ワクチン、各種検討事項等について協議を行いました。また、接種間違いの防止のため、定期接種ワクチン接種時期算出システム「誤接種防止早見表」を、2月1日より「愛知県広域予防接種事業」ページ内にて公開いたしました。
- 2) 毎月20日に接種協力医療機関・医師名簿を更新し、愛知県に提出しております。また、課題や間違い、書類の返戻など各種事項に対し、講習会等を通じ、留意事項として伝達いたしました。
- 3) 令和6年度の本事業への協力依頼を2,759医療機関へ送付いたしました。
- 4) 接種協力医療機関は3月末現在で、2,761医療機関にご登録いただいております。

(7) 地域医療の推進発展

・ 地域医療構想

- 1) 第1回愛知県地域医療構想推進委員会を8月28日(月)に東京第一ホテル錦にて開催し、内閣官房・内閣審議官 鷲見学先生より「2040年を見据えた医療提供体制について～新型コロナ対応を振り返りつつ～」と題し講演をいただき、各構想区域における地域医療の現状(地域医療構想推進委員会の進捗状況、新型コロナウイルス感染症の対応等)について議論いたしました。

- 2) 第2回目を3月27日(水)に東京第一ホテル錦にて開催し、令和6年度の病床整備に係るスケジュールについて意見交換を行い、令和6年度以降の地域医療構想推進委員会の進め方について説明いたしました。

また、各構想区域の地域医療構想推進委員会委員等を対象として研修会を以下のとおり開催いたしました。

地域医療構想の進め方に関する研修会

5月13日(土) JPタワー名古屋ホール&カンファレンス 参加者：31名

6月10日(土) ホテルアソシア豊橋 参加者：58名

- ・ 病診連携

地域医療支援病院の運営委員会や、大学の運営協議会等の委員として出席し、地域の病診連携の現状及びその問題点の把握に努めました。

- ・ 四大学連絡協議会

8月17日(木)に四大学の医学部長、病院長により、愛知県地域医療構想を協議することを目的に開催いたしました。併せて、医師の働き方改革に対する大学病院の取り組み状況について協議いたしました。

- ・ 難治性疾患対策

- 1) 難病相談室の令和5年4月～令和6年3月の相談件数は1,894件で、月平均の相談件数は158件でした。〈別表5 参照〉
- 2) 愛知県・名古屋市指定難病審査会は、新型コロナウイルス感染症の発生状況を考慮し、令和5年4月、5月は持ち回り、6月28日(水)、7月27日(木)、8月31日(木)、9月28日(木)、10月26日(木)、11月30日(木)、12月21日(木)、1月25日(木)、2月29日(木)、3月27日(水)はWeb会議にて審査を行いました。
- 3) 6月29日(木)に岡崎げんき館にて開催された令和5年度岡崎市難病対策ネットワーク会議に出席いたしました。
- 4) 8月31日(木)に愛知県自治センターにて開催された令和5年度愛知県小児慢性特定疾病児童等地域支援協議会に出席いたしました。
- 5) 9月5日(火)、1月30日(火)に名古屋市役所西庁舎にて開催された名古屋市難病対策地域支援ネットワーク会議に出席いたしました。
- 6) 10月4日(水)に江南保健所にて開催された神経系難病患者・家族のつどいに講師を派遣いたしました。
- 7) 難病講習会を10月19日(木)、10月25日(水)、10月30日(月)に愛知県、名古屋市と共催にて開催し、計239名の参加者がありました。
- 8) 11月28日(火)に西区役所にて開催された西区自立支援連絡協議会障害者基幹相談支援センター相談支援部会に講師を派遣いたしました。
- 9) 12月14日(木)に緑保健センターにて開催された緑区難病患者地域支援ネットワーク会議に講師を派遣いたしました。
- 10) 12月21日(木)に愛知県自治センターにて開催された令和5年度愛知県難病医療連絡協議会・連絡会(合同会議)に出席いたしました。

- 11) 1月15日(月)に西保健センターにて開催された神経系難病患者さんのつどいに講師を派遣いたしました。
- 12) 1月23日(火)に中村保健センターにて開催された中村区難病患者地域支援ネットワーク会議に講師を派遣いたしました。
- 13) 2月8日(木)に中保健センターにて開催された中区難病対策地域支援ネットワーク会議に講師を派遣いたしました。
- 14) 2月16日(金)に熱田保健センターにて開催された難病セミナーに講師を派遣いたしました。
- 15) 難病グループワーク(疾患別患者・家族のつどい)を以下のとおり開催いたしました。
 

2月 7日(水)	障害年金勉強会	参加者：12名
2月21日(水)	クローン病患者・家族のつどい	参加者：13名
- 16) 3月7日(木)に令和5年度難病講演会を開催いたしました。「難病患者・家族の心理的社会的問題と支援」をテーマに、ソーシャルワーカーサポートセンター名古屋代表兼認知症介護研究・研修大府センター研修部長の浅野正嗣氏にご講演いただき、62名の参加者がありました。

・ 糖尿病対策

- 1) 「世界糖尿病デー」ブルーライトアップ(11月)事業の経費補助について、愛知県糖尿病対策推進会議が窓口となり実施団体を取り纏めて、世界糖尿病デー実行委員会への申請を行いました。
- 2) 8月25日(金)に令和5年度愛知県糖尿病対策推進会議を開催し、糖尿病対策におけるかかりつけ医機能の充実を図るために、愛知県糖尿病対策推進会議学術講演会について検討いたしました。
- 3) 1月27日(土)にプライムセントラルタワー名古屋駅前店第3・4・5会議室において令和5年度愛知県糖尿病対策推進会議学術講演会を会場とWebのハイブリッド方式で開催し、会場参加68名、Web参加21名の計89名の参加者がありました。

・ 在宅医療

- 1) 在宅医療推進事業の一環として、せん妄対策研修会を開催し、9月9日(土)17名、9月24日(日)15名、計32名の参加者がありました。また、摂食・嚥下機能支援に関する研修会を1月27日(土)開催し、129名の参加者がありました。  
在宅医療・介護連携推進事業ネットワーク会議の一環として、県内地域の医療介護連携担当実務者を対象に在宅医療・介護連携推進事業ネットワーク会議を開催し、11月15日(水)86名、12月20日(水)59名、計145名の参加者がありました。
- 2) 県下各地区医師会を対象に、5月に「在宅医療・介護連携推進事業の運営状況に係るアンケート調査」を行いました。
- 3) 愛知県より小児在宅医療普及推進事業を受託し、小児在宅医療推進企画委員会において、医師、医療従事者を対象とした研修を企画・立案し、医療的ケア児に対応できる人材を育成することで退院支援から生活の場における療養支援、急変時の対応など継続した小児在宅医療連携体制の構築を図るため、下記講習会を開催いたしました。
 

10月 9日(月・祝)	あいち小児在宅医療実技講習会	参加者：66名
12月16日(土)	尾張東部小児在宅医療講習会	参加者：56名
2月10日(土)	名古屋小児在宅医療講習会	参加者：84名



- 4) 在宅医療を受けていた小児の死亡例を評価・検討する場として、小児在宅医療推進企画委員会にワーキンググループを設置し、予防可能な小児死亡を減らすことを目的として、死因の調査を行いました。

・ 警察

- 1) 警察関係業務の向上発展を図ることを目的として設置している愛知県医師会警察部会において、警察行政への協力、警察関係の医事研究向上、災害時における検案協力医体制の構築に努めました。
- 2) 検視立会医に対し、検視医研修会を2月17日(土)に開催いたしました。愛知県警察本部刑事部捜査第一課検視官室長西野健吾氏より「愛知県における検視・検案について」、藤田医科大学医学部法医学講座講座教授の磯部一郎先生より「解剖例から検案を考える」と題してご講演いただき、42名の参加者がありました。

・ 勤務医

- 1) 勤務医の学術の向上、勤務環境の改善、福祉の増進、相互の連帯・親睦を図ること等を目的として勤務医部会を設置しており、隔月開催の勤務医部会幹事会において、医師の働き方改革や新専門医制度、新型コロナウイルス感染症対策等、勤務医が関わる問題について検討いたしました。また、広報活動として、愛知医報の「勤務医部会だより」に、幹事会議事内容の報告や、幹事が交代で執筆したコラムを掲載いたしました。
- 2) 愛知県勤務医師生活協同組合と連携し、勤務医の福利厚生の上にも力を入れました。6月21日(水)に、愛知県勤務医師生活協同組合総会に先立ち、講演会が開催され、愛知県地域医療構想アドバイザー、蒲郡市民病院名誉院長の伊藤健一先生より「第8次医療計画」と題し、ご講演いただきました。

・ 自殺対策

- 1) うつ病の早期発見・早期治療による一層の自殺対策の推進を図るため、厚生労働省「かかりつけ医等心の健康対応力向上研修事業」を愛知県より受託し、以下のとおり研修会を開催いたしました。

10月1日(日)	ホテルアークリッシュ豊橋	参加者：37名
11月26日(日)	名古屋クレストンホテル	参加者：33名
1月28日(日)	サイプレスホテル名古屋駅前	参加者：40名
- 2) アルコール依存症の早期発見・介入等を行い、一層のアルコール健康障害対策の推進を図るため、「かかりつけ医等アルコール依存症対応力向上研修事業」を愛知県より受託し、医師、産業医を対象とした研修会を3月9日(土)に開催し、90名の参加者がありました。

・ 日医電子認証センター(日本医師会認証局)

医師資格証の受渡し業務として、本会にて63件実施いたしました。  
3月末日における愛知県内の登録者数は2,195名(内愛知県医師会非会員712名)となっております。

・ 国民医療推進協議会 地域集会

11月16日(木)に開催し、142名の参加者がありました。地域集会では、持続可能な社会保障制度の確立に向けて、国民が将来にわたり必要な医療・介護を安心して受けられるための適切な財源の確保を、国民とともに政府に対し求めていくことが決議され、愛知県議会へ意見書を提出いたしました。(別紙2 参照)

・ 日医かかりつけ医機能研修制度

- 1) 日医かかりつけ医機能研修制度令和5年度応用研修会(Web講習会)を8月27日(日)に愛知県医師会館9階大講堂にて開催し、94名の参加者がありました。
- 2) 本研修制度修了申請の受付を開始し、愛知県内では3月末日現在、145名の方が「日医かかりつけ医機能研修制度 認定証」を取得されております。なお、令和5年4月1日付で41名を認定し、認定証を交付いたしました。
- 3) 本研修制度を修了し認定証を交付された方を、地域のかかりつけ医として活動し、研鑽を続けている医師であると広く県民に示すため、本会ホームページへ認定者名簿を掲載しております。

(8) 救急医療・災害医療対策

・ 災害・救急医療対策

- 1) 愛知県医師会無線システム並びに愛知県広域災害・救急医療情報システム、災害時優先携帯電話、衛星携帯電話の運用訓練を6月6日(火)、7月4日(火)、8月1日(火)、9月5日(火)、10月3日(火)、12月6日(水)、3月5日(火)に行い、無線機等の使用方法の確認と災害を想定した訓練を行いました。
- 2) 6月18日(日)に愛知県医師会館にて医師、医療従事者、消防関係者等対象の災害時・災害訓練に役立つトリアージ研修会を開催し、医師11名、医療関係者27名、消防関係者40名、その他8名の合計86名の参加者がありました。
- 3) 小児救急に関する研修会を以下のとおり開催いたしました。

8月8日(火)	医療従事者向け	愛知県医師会館	参加者：80名
10月4日(水)	学校関係者向け	愛知県医師会館	参加者：111名
- 4) 日本医師会、厚生労働省、総務省消防庁が作成した救急医療週間ポスター、CAB+Dカードの配付を行い、救急週間の啓発に努めました。また、9月8日(金)に愛知県医師会館にて愛知県救急医療推進大会を開催し、日本医師会常任理事の細川秀一先生より、「医師会による救急災害医療の実践について」、本会の河村英徳理事より「～災害時における救急医療情報センターの役割～」をテーマに講演し、さらに、愛知県救急医療情報センターの見学ツアーを実施し、県民への救急医療に関する知識普及と医療関係者の意識の高揚を図り、延べ74名の参加者がありました。
- 5) 10月5日(木)の県営名古屋空港消火救難総合訓練、10月12日(木)の中部国際空港消火救難・救急医療活動総合訓練に、本会役職員の派遣、地区医師会から医療救護班を派遣いたしました。
- 6) 11月18日(土)に中部医師会連合令和5年度災害医療担当理事連絡協議会が開催され、中部医師会連合災害時医療救護協定書の改正、災害対策基本法に基づく「防災業務計画」の策定状況および大規模災害発生時における役職員の初動対応マニュアルの整備状況について意見交換を行いました。
- 7) 「こどもの命を守るために 事故防止と乳幼児心肺蘇生セミナー」を保育園等に勤務している方を対象に以下のとおり開催し、修了証を交付いたしました。

9月25日(月)	愛知県医師会館	参加者：69名
----------	---------	---------
- 8) 8月27日(日)に令和5年度愛知県災害医療コーディネート研修を愛知県・愛知医科大学との共催により開催し、保健所・災害拠点病院関係・県下医師会など58名の参加者がありました。

- 9) 12月17日(日)に名古屋掖済会病院にて医師を対象に愛知県医師会PTLS講習会を開催し、参加者19名に修了証を交付いたしました。
- 10) 2月4日(日)に名古屋市立大学病院臨床シミュレーションセンターにて医師・看護師を対象に愛知県医師会ICLS研修会を開催し、28名の参加者がありました。
- 11) 3月2日(土)に医師・医療従事者・消防職員等を対象に第40回救急医療・災害医療シンポジウム「令和5年6月2日東三河豪雨から学ぶBCP〜ダメージを最小限にし、機能の継続・早期復旧を目指すための準備と対応〜」をテーマに開催し、106名の参加者がありました。
- 12) 3月10日(日)に開催された「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2024」に救護スタッフとして医師28名を推薦いたしました。
- 13) 災害時の安否確認を目的とした「AKKシステム(愛知県医師会緊急確認システム Safetylink24)」について、A会員を対象に登録促進を行いました。3月末時点で、2,905名にご登録いただいております。
- 14) 9月3日(日)に愛知県・安城市総合防災訓練に参加し、応急救護所の開設・運営、遺体の身元確認等の検案作業を行いました。また、愛知県医師会救急医療情報センターの啓発、過去のJMAT活動に関する広報活動を行いました。
- 15) 「小学生のための救急蘇生法講習」を愛知県内の小学校6年生を対象として開催し、22校1,574名の児童が参加いたしました。
- 16) 令和6年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」において、JMAT(日本医師会災害医療チーム)を編成し、石川県へ1月5日(金)〜4月2日(火)の間、32班延べ142名を派遣し、医療救護活動を行いました。

- ・ 救急医療情報システム

救急患者実態調査、休日診療所における救急患者実態調査、急性期脳卒中に関するアンケート調査、熱傷入院患者取扱実績報告における調査、急性心筋梗塞に関するアンケート調査を昨年に引き続き、実施いたしました。

(9) 地域保健の向上

- ・ 産業保健

- 1) 産業医学振興財団の委託事業である産業医研修事業について、リフレッシュ研修、スキルアップ専門研修、スキルアップ実地研修を日本医師会認定産業医研修会として、産業医研修連絡協議会を本会産業保健部会幹事会として実施いたしました。また、地区医師会、関係団体等の行う日本医師会認定産業医研修会に共催いたしました。
- 2) 日本医師会認定産業医については、新規申請者118名及び更新申請者955名が認定を受けました。
- 3) 日本医師会産業保健委員会に委員として参加し、産業保健活動における制度改正等について検討・協議いたしました。
- 4) 日本医師会では、医師会が産業医紹介事業者と契約することで企業と産業医のマッチングや契約手続代行等の支援を行う「医師会主導による産業医紹介事業者を活用したモデル事業」を実施しております。本会でも本事業の実施に向け、産業保健部会幹事会で検討を重ね、5月11日開催の第4回(定例)理事会にて事業実施が承認され、希望者7名を対象に令和5年6月1日から令和6年5月31日までの単年度事業として実施することといたしました。

・ 学校保健の推進

- 1) 愛知県教育委員会、愛知県学校保健会等の関係会議へ出席し、各種事項について検討・協議いたしました。また、愛知県学校保健会の行事に参加いたしました。
- 2) 学校医の報酬実態調査を行い、調査結果を踏まえ、学校医の報酬に関して愛知県知事に要望書を提出いたしました。
- 3) 学校保健部会幹事会・学校健診委員会において、学校医・園医報酬、県立高等学校並びに県下小中学校の心電図精度管理等について、検討・協議いたしました。
- 4) 学校健診委員会小委員会において、健診機関の使用する心電図問診票の改訂について協議いたしました。
- 5) 日本医師会学校保健委員会に委員として参加し、会長諮問事項について、検討・協議いたしました。
- 6) 7月9日(日)に心電図精度管理調査解析検討会を開催し、健診機関、教育委員会から提出された心電図に関し、学校健診委員会の委員を中心に解析を行いました。
- 7) 愛知県立高等学校の学校健診を行っている健診機関10機関を対象に、栄研化学株式会社のご協力の下、「愛知県立高等学校学校検尿(1次検査)における精度管理調査」を実施いたしました。
- 8) 8月2日(水)に学校医の先生方を始めとした医療関係者、養護教諭、三歳児健診関係者を対象に小児CKD(慢性腎臓病)対策講習会を愛知腎臓財団と共催にて開催し、66名の参加者がありました。
- 9) 10月28日(土)に第54回全国学校保健・学校医大会が兵庫県医師会の担当で開催され、本会からも出席いたしました。
- 10) 令和6年度県立高等学校学校医の取り纏めを行い、愛知県教育委員会へ学校医の推薦をいたしました。
- 11) 1月13日(土)に第38回学校保健健診懇談会を開催し、67名の出席がありました。定例報告に続いて、特別講演として、「学校心臓検診の成果と課題：ビッグデータ解析、医療DXの時代に」と題し、三重大学医学部附属病院周産母子センター病院教授の三谷義英先生より、事前に収録したビデオ講演を上映するという形にてご講演をいただきました。
- 12) 1月17日(水)に日本医師会が開催した、都道府県医師会学校保健担当理事連絡協議会に本会役員が参加し、議事「学校における健康診断の課題について」において、講師として心臓検診について報告を行いました。
- 13) 3月3日(日)に学校保健シンポジウムを開催し、60名の参加者がありました。また、特別講演として「医療的ケア児を光とするインクルーシブ教育の意義と課題」と題し、埼玉医科大学総合医療センター小児科名誉教授兼客員教授・佐久大学PCAN大学院客員教授・日本小児在宅医療支援研究会名誉理事・日本医師会小児在宅ケア検討委員会副委員長の田村正徳先生よりご講演いただきました。
- 14) 3月8日(金)に令和6年度定期健康診断における精度管理説明会を開催し、令和6年度に愛知県立学校の健診を実施する10の健診機関を対象に、愛知県立学校腎臓検診・心臓検診に対して学校健診委員会が行う精度管理について説明いたしました。

・ 母体保護法指定医師の指定

- 1) 母体保護法指定医師審査委員会にて審査の上、21名の母体保護法指定医師を新規指定し、新規指定医師等に対しては、指導講習会を実施いたしました。3月末日における母体保護法指定医師は504名です。

- 2) 母体保護法指定医師に対し、母体保護法指定医師講習会(ゴールドカード講習会)を7月22日(土)、8月19日(土)に開催し、223名が受講されました。

## (10) 医療保険・介護保険の充実

### (医療保険関連)

#### ・ 社会保険

- 1) 社保指導委員会では、指導・監査に係る講評等を行うとともに、社会保険等の適切な運用に向けて協議・検討を行いました。
- 2) 保険診療の質的向上及び適正化を図るため、保険医療機関に対する指導監査の立会いを実施いたしました。
- 3) 7月23日(日)(Web会議)、8月20日(日)(対面)に中部医師会連合社会保険特別委員会が開催され、各県の新型コロナウイルス感染症による影響や、指導監査実施状況及び保険医療機関・保険医の指定取消状況、オンライン資格確認システム、令和6年度診療報酬改定における要望、協議・報告、意見交換が行われ、愛知県より「物価高騰と賃上げの流れの中で診療報酬改定を考える」をテーマに話題提供を行いました。
- 4) A会員(令和4年5月末現在)を対象に社保集団指導講習会並びに医療安全説明会を4回(4月5日(水)、4月15日(土)、4月27日(木)、未受講者対象を7月2日(日))開催いたしました。
- 5) 令和5年4月よりオンライン資格確認システム導入が義務化となったことによる種々の関係文書や5月に感染症法上の位置づけが変更された新型コロナウイルス感染症にかかる診療報酬上の取扱いについて会員に周知し、県下医師会長等協議会や社保集団指導講習会並びに医療安全説明会等の場でも説明を行いました。
- 6) 「新規指定集団指導」を東海北陸厚生局・愛知県の共催で実施しておりましたが、今年度より愛知県医師会も参加し、保険診療および指導・監査等について説明を行いました。

### (介護保険関連)

#### ・ 介護保険

- 1) 地域医療介護委員会では地域包括ケア、介護保険、高齢者福祉、障害者福祉等に係る関連事業の検討、各地域の諸問題に関する情報交換を行い、地区医師会及び行政との連携体制の強化を図りました。
- 2) 9月24日(日)、10月1日(日)に中部医師会連合地域包括ケア特別委員会が開催されました。今年度は各県医師会からの介護報酬改定の要望、地域包括ケアの推進にあたり各県の特色ある取組、ACPの普及に関する取組について情報収集及び意見交換が行われました。
- 3) 県下各地区医師会を対象に、7月より「在宅医療の提供と医療・介護連携に関する実態調査」を行いました。
- 4) 1月14日(日)に保健・医療・福祉の連携強化に関するシンポジウム(テーマ:医療・介護・福祉分野でのより良いICT活用術)を開催し、会場参加34名、Web参加65名、計99名の参加者がありました。

#### ・ 認知症対策

- 1) 認知症地域医療研修検討委員会では、認知症の容態に応じた適切な医療の提供が可能となる支援体制を構築するための研修について検討いたしました。

- 2) 愛知県下で開業又は勤務する医師(名古屋市医師会を除く会員)に対し、かかりつけ医認知症対応力向上研修を開催し、7月8日(土)50名、7月22日(土)57名、計107名の参加者がありました。
- 3) 医療機関に勤務する医師、看護師、薬剤師、リハビリ職種を始めとした多職種の医療従事者を対象に、医療従事者の認知症対応力向上研修を開催し、8月5日(土)55名、9月30日(土)36名、10月21日(土)49名、計140名の参加者がありました。
- 4) 認知症サポート医を対象に、12月9日(土)に認知症サポート医フォローアップ研修を開催し、62名の参加者がありました。
- 5) 産業医等を対象に、1月17日(水)に産業医向け若年性認知症支援研修を開催し、72名の参加者がありました。
- 6) 認知症対応病院ピアレビューの参加病院等に対し、3月21日(木)に認知症対応病院ピアレビュー活動報告会を開催し、38病院から84名の参加者がありました。

#### (11) 医療安全対策の推進

##### ・ 医療事故・医事紛争対策

- 1) 医療事故・医事紛争対策については、医療過誤の未然防止、医事紛争処理、医療賠償等の観点から、医療安全対策委員会において種々検討いたしました。さらに、実効性のある医事紛争解決と医療安全のあり方、医療事故調査制度について、医療安全対策小委員会でも検討いたしました。
- 2) 日本医師会「医師賠償責任保険」の関係では、14件を日本医師会へ付託いたしました。また「日医医賠償特約保険」の加入者は、3月末日現在で1,951名になりました。
- 3) 医療事故調査制度相談窓口への相談・支援依頼は相談が6件、支援依頼が17件ありました。
- 4) 医療事故調査制度の実情を少しでも把握し、支援を活性化するために、A会員の先生方を対象とした医療法上における医療事故調査制度に関するアンケート調査を実施いたしました。アンケート調査項目については、7月21日(金)に愛知県医療事故調査等支援団体等連絡協議会幹事会小委員会にて検討いたしました。
- 5) 9月23日(土)・24日(日)に愛知県看護協会において、医療メディエーター研修を開催いたしました。医療事故調査制度における初期対応支援の中でも重要とされる遺族対応について習得することを目的に研修を行い、医師、看護師、事務職員が33名受講しました。
- 6) 3月13日(水)に愛知県医療事故調査等支援団体等連絡協議会を開催いたしました。また、愛知県医療事故調査等支援団体等連絡協議会幹事会を6月16日(金)、10月20日(金)に開催し、医療事故調査制度に関する情報交換、支援団体の支援内容等について報告・協議いたしました。
- 7) 11月2日(木)にミッドランドホールにおいて、第1回医療事故調査制度に関する研修会を開催いたしました。講師として本会の渡辺嘉郎理事より「愛知県における医療事故調査制度のアンケート調査結果報告」と題して講演し、引き続き弁護士法人後藤・太田・立岡法律事務所の弁護士中村勝己先生をお招きし、「医療事故調査の質を高めるために」と題しご講演いただき、123名の参加者がありました。また、第2回目を12月2日(土)にコートヤード・バイ・マリOTT名古屋において開催いたしました。講師に高崎健康福祉大学副学長・保健医療学部学部長の渡邊秀臣先生をお招きし、「多職種連携文化醸成と医療事故調査制度」と題しご講演いただき、96名の参加者がありました。

- 8) 10月22日(日)にコートヤード・バイ・マリオット名古屋において、昨年度のコーディネーター養成研修会の受講者を対象に、医療事故調査制度コーディネーターブラッシュアップ研修会を開催いたしました。初動支援チームのメンバーとして対応できる知識とスキルをさらに向上させることを目的に行い、24名の参加者がありました。また、11月12日(日)にコートヤード・バイ・マリオット名古屋において、医療事故調査制度コーディネーター養成研修会を開催いたしました。医療事故発生時に診療所等の小規模医療機関または、事故調査が不慣れな医療機関から支援を求められた場合に、初動支援チームのメンバーとして対応できる事項を習得することを目的に、事務職員、看護師を対象とし42名の参加者があり、参加者全員にコーディネーター認定証を授与いたしました。
  - 9) 医療事故発生時に診療所等の小規模医療機関または、事故調査が不慣れな医療機関がいざという時に制度がひと目で分かるハンドブックについて7月21日(金)、1月22日(月)に幹事会(小)委員会、6月16日(金)、10月20日(金)に幹事会を開催し検討を行い、ポスターとハンドブックを作成し、A会員へ配付いたしました。
  - 10) 3月24日(日)に中区役所ホールにおいて、医療事故調査制度に関するシンポジウムを開催いたしました。講師に名古屋大学医学部附属病院副病院長・患者安全推進部教授長尾能雅先生をお招きし、「情報公開とクリニカルガバナンス」と題しご講演いただき、引き続き本会の野田正治副会長より「院内調査報告書の公開について」と題しご講演をいたしました。その後、弁護士法人愛知総合法律事務所名古屋丸の内本部事務所弁護士の渡邊健司先生と中日新聞前編集局生活部記者の植木創太氏を交えディスカッションを行い、211名の参加者がありました。
- ・ 医療安全支援センター(苦情相談センター)
- 1) 令和5年4月～令和6年3月の相談受付件数は新規・継続ケースを合わせて1,643件となりました。相談窓口業務及び対応を相談員(看護師、医療ソーシャルワーカー)が担い、医療に関わる専門的な対応については、担当理事及び医療安全支援センター(苦情相談センター)委員会の専門委員(医師)によって適切に行われました。
  - 2) 5月27日(土)に東別院ホールにおいて、令和5年度愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)第1回事例検討会を開催し、226名の参加者がありました。
  - 3) 6月29日(木)に開催された令和5年度愛知県等医療安全支援センター担当者連絡会議に参加し、関係機関との情報交換を行いました。
  - 4) 7月15日(土)に東別院ホールにおいて、令和5年度愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)第1回講演会を開催いたしました。「医療における共同意思決定(Shared Decision Making)の現況と課題-患者中心志向とEBMの実践-」をテーマに、板橋中央総合病院副院長/群馬大学特別教授(Quality & Safety Science担当)小松康宏先生にご講演いただき、162名の参加者がありました。
  - 5) 9月7日(木)に愛知県三の丸庁舎で開催された令和5年度愛知県医療安全推進協議会に参加いたしました。
  - 6) 12月16日(土)に名古屋工業大学NITech Hallにおいて、令和5年度愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)第2回事例検討会を開催し、123名の参加者がありました。
  - 7) 1月20日(土)に名古屋サンスカイルームにおいて、令和5年度愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)第2回講演会を開催いたしました。「医療安全は患者のためだけの言葉か?～医療機関を守るための医療安全～」をテーマに、弁護士法人後藤・太田・立岡法律事務所弁護士水野吉博氏にご講演いただき、219名の参加者がありました。

- 8) 2月2日(金)に東別院会館会議室において、令和5年度医療安全対策推進事業県民のための医療安全講演会を開催いたしました。「あなたや あなたの大切な人が がんになったら」をテーマに、NPO法人ミーネット理事長/愛知県健康づくり推進協議会がん対策部会構成員花井美紀氏、NPO法人ミーネットがん体験者/がんのピアサポーター(スーパーバイザー)伊藤和直氏にご講演いただき、25名の参加者がありました。
- 9) 「愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)事例検討会・講演会報告集2023」を作成し、会員始め関係機関へ配付いたしました。

#### ・ 医療安全対策

- 1) 12月7日(木)にミッドランドホールにおいて、医師・医療従事者向けの医療安全に関する講演会を開催いたしました。「臨床倫理コンサルテーションとは何か？」をテーマに、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院副院長・第一産婦人科部長山室理先生、「臨床倫理コンサルテーションチームの活動の実際」をテーマに、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院心臓血管外科・心臓外科部長加藤 互先生にご講演いただき、125名の参加者がありました。
- 2) 2月10日(土)に名古屋東急ホテルにおいて、愛知県医師会医療安全対策委員会勉強会を開催いたしました。「神奈川県医師会の医事紛争防止対策」をテーマに平沼高明法律事務所所長弁護士、神奈川県医師会医事紛争特別委員会委員の平沼直人先生にご講演いただき、本会役員始め44名の参加者がありました。

#### ・ 剖検システム

- 1) 医療安全対策の一環として運営している愛知県医師会剖検システムは、愛知県下四大学病院の病理部門のご協力をいただき、順調な運営を続けております。
- 2) 2月22日(木)に名古屋東急ホテルにおいて、愛知県医師会剖検システム運営協議会を開催し、令和5年の運営状況(決算報告)、症例報告等を行いました。

### (12) 医療施設の整備

#### ・ 共同利用施設

9月9日(土)・10日(日)に岡山コンベンションセンター(岡山県)にて開催されました「第30回全国医師会共同利用施設総会」に参加し、各都道府県の共同利用施設の現状把握に努めました。また、11月3日(金・祝)にホテルグランヒルズ静岡(静岡県)にて開催されました「令和5年度中部医師会連合共同利用施設連絡協議会」に参加し、「医師会事業としての共同利用施設のあり方について～地域貢献・会員貢献の視点から～」をテーマに、中部各県の共同利用施設の現状や課題について報告、意見交換を行いました。共同施設委員会では、例年実施している各施設における現況調査の報告に加え、上記総会等について情報提供を行いました。

#### ・ 臨床検査精度管理

県下における臨床検査施設の実態把握と精度向上を図る目的で、直送方式の精度管理調査(免疫学(血清学)・血液学・病理学・生化学・尿)を実施いたしました。また、2月6日(火)に精度管理研修会を開催し、名古屋大学医学部附属病院輸血部教授の松下正先生を講師に迎え、特別講演として「病院の品質改善と臨床検査」をテーマにご講演いただき、72名の参加者がありました。



### (13) 会員の福祉の向上

- ・ 労働保険事務組合

委託事業所数は72件(3月31日現在)であり、前年度から減少はありません。事務手続きは社会保険労務士事務所へ委託しており、手続き件数は取得65件、喪失53件でした。

- ・ 生命保険団体取扱い

生命保険団体取扱事務の現状は、生命保険会社7社と契約し、契約人数348名、契約件数512件であり、月掛取扱保険料は3,550万余円でした。(別表6 参照)

- ・ 会員相談窓口

令和5年4月～令和6年3月の一般相談件数は308件あり、診療報酬に関する相談は83件でありました。相談の対応については、担当理事を始め、専門家の見解を得て、適切に行っております。

- ・ 事業概要等説明会

令和4年6月～令和5年6月入会の新入会員を対象に、9月16日(土)に開催いたしました。内容としては、「医師会の機構と事業」「保険診療上の留意点」「新型コロナウイルス、予防接種」「苦情相談、会員相談窓口、医療安全」についてそれぞれ説明を行い、122名の参加者がありました。

### (14) 医師会及び医療関連団体との連携・県民への広報活動

#### (涉外)

- ・ 中部医師会連合

中部医師会連合の事業年度は規約により、7月1日から翌年6月30日までの1年間であるため、令和5年4月～6月は前年度に引き続き三重県が、7月からは静岡県が主務担当となりました。

常任委員会13回、常任委員会懇談会2回、日医代議員協議会2回、社会保険特別委員会2回(Web会議1回)、地域包括ケア特別委員会2回(Web会議1回)、勤務医特別対策委員会2回(Web会議1回)、事務局長連絡協議会2回が開催されました。

また、11月3日(金・祝)に共同利用施設連絡協議会、11月18日(土)に委員総会及び災害医療担当理事連絡協議会が開催されました。

- ・ 関西医師会連合

今年度の主務担当県は石川県で、8月5日(土)に京都市において関西医師会連合常任委員会が開催されました。次年度主務県は兵庫県になりました。

#### (IT化対策)

- ・ ホームページ・IT化対策

1) ホームページ・IT化対策委員会において、令和5年度 情報セキュリティ研修会及び情報セキュリティに関するアンケート調査を企画・検討いたしました。また、愛知県医師会事務局の仮事務所への移転に伴うサーバー機器の移設について協議を行いました。

2) 9月7日(木)にWeb会議システムを用いて情報セキュリティ研修会を開催し、125名の参加者がありました。また、本研修会動画を本会YouTubeチャンネルに公開いたしました。

- 3) 会員への情報提供を迅速に行うため、本会ホームページ及び愛医通信を運用し、内容の充実に努めました。
- 4) 日本医師会医療情報システム協議会運営委員会に委員として参加し、3月2日(土)から3日(日)にかけて開催される令和5年度日本医師会医療情報システム協議会のプログラムについて検討・協議いたしました。また、協議会では「医療DX について」セッションにおいて座長を務めました。

(広報)

・ 広 報

医師会活動等を報告する本会機関誌「愛知医報」を毎月2回(1日・15日)発行いたしました。掲載内容・構成については広報委員会において検討・決定いたしました。

・ 対外広報

報道関係者との懇談会を以下のとおり開催いたしました。

4月6日(木) 愛知県医師会館

- ・ 産科診療をめぐる諸問題について(柵木会長)
- ・ 令和5年5月8日以降の新型コロナウイルス感染症診療体制に関するアンケート調査について(田那村理事)

9月14日(木) 名古屋クレストンホテル

- ・ 出産費の保険適用への問題点について(柵木会長)
- ・ 診療報酬改定について(横山理事)

1月15日(月) 仮事務所

- ・ 令和6年能登半島地震における愛知県医師会JMATの活動について(河村理事)
- ・ 医療事故調査制度の概要とそのあり方について(渡辺理事)

(15) 医師・医療関係従事者対策

(勤務環境改善支援)

・ 医療勤務環境改善支援センター

- 1) 愛知県の医療勤務環境改善支援センター運営事業、愛知労働局の医療労務管理支援事業を受託いたしました。
- 2) 医療機関に対する労務管理支援として、医療従事者が健康で安心して働くことができる環境整備を目的に、個別支援業務延べ588件、相談対応業務延べ700件を行いました。
- 3) 当センターの活動内容、勤務環境改善に関する好事例の紹介、セミナー等の開催案内、働き方改革関連の最新情報等の情報提供を目的とした広報誌「いきサポ愛知」を隔月発行いたしました。
- 4) 医師の働き方改革関連の情報や各種研修会のお知らせをより多くの方々にいち早く発信するため、医療関係者向けのメールマガジンを配信いたしました。
- 5) 当センターの利用勧奨を目的としたリーフレットを作成し、愛知県下全医療機関に配付しました。
- 6) 愛知県下の医療機関を対象に、改正労働基準法の内容を含む労働時間に関する制度の周知、理解促進を目的とした説明会を以下のとおり行いました。

医療機関に対する働き方改革セミナー

6月 5日(月) 愛知県医師会館

参加者：49名

7月26日(水) 愛知県医師会館

参加者：44名

11月 8日(水) 栄ガスビル

参加者：46名

- 7) 愛知県下の医療機関を対象とした労務管理説明会を、愛知労働局、愛知県、愛知県病院協会との共催で開催し、1月17日(水)47名、2月7日(水)89名、計136名の参加者がありました。
- 8) 1月31日(木)に開催された、岡崎労働基準監督署主催「医療機関に対する労働時間等説明会」において、医療機関の勤務環境に関する支援について説明し、利用勧奨を行いました。

#### (医師確保対策事業の推進)

##### ・ 医師確保

事務局内に愛知県医師会地域医療人材育成センター(ドクターバンクあいち)窓口を開設し、医師の職業紹介事業を行っており、愛知県地域医療支援センターと連携して対応しております。愛知医報並びにホームページにてドクターバンクあいちに登録のある求人医療機関の情報発信を行い、求職医師に最新情報を随時提供できるよう努めております。職員による、医療機関への訪問等、求人機関、求職者の希望に柔軟に対応いたしました。紹介件数は22件で、採用件数は8件でありました。

##### ・ 男女共同参画

- 1) 近年、医療現場で働く女性医師数の増加が著しく、女性の活躍の場が増えている一方で、医師としてのキャリア形成と家事・育児との両立を始めとする数多くの問題があります。昨今の医師不足の中、これからも増加していくであろう女性医師や女子医学生の実用は必要不可欠なことと考え、多くの諸問題に注視し、共同参画の実現に向け、男女それぞれの役割等、広い視野を持って取り組みました。
- 2) 日本医師会男女共同参画委員会に委員として参加し、会長諮問事項について、検討・協議いたしました。
- 3) 日本医師会女性医師支援センター事業運営委員会に委員として参加し、事業内容等について、検討・協議いたしました。
- 4) 1月24日(水)に名古屋掖済会病院にて、「医学生、若手医師と地域医療を考える会」を開催いたしました。講師に名古屋掖済会病院初期研修医の永松日向子先生、名古屋掖済会病院副院長・臨床研修センター長の長谷川正幸先生、愛知県地域医療支援センター前センター長の内海 眞先生をお招きし、「名古屋掖済会病院での研修を振り返って」・「初期研修医と地域医療と働き方改革」・「地域医療を通して得た大きな収穫」と題しご講演をいただき、現地参加23名、ZOOMによるオンライン参加28名の合計51名の参加者がありました。

##### ・ 若手医師対策

7月29日(土)に名古屋東急ホテルにて、臨床研修指定病院の病院長、指導医、研修医の先生方を対象として、「令和5年度 愛知県医師会 研修医ウェルカムパーティ」を開催し、第一部研修会では、愛知県地域医療支援センター山本直人センター長より「新専門医制度における医師のキャリア形成を考える」、本会の小出詠子理事より「医師の働き方の現状とこれから～ダイバーシティの立場から～」と題してご講演いただきました。第二部情報交換会では、本会・愛知県医師信用組合・愛知県勤務医師生活協同組合の事業紹介の他、臨床研修指定病院6病院の研修医からそれぞれ発表がありました。医師会関係者を含め155名の参加者がありました。

##### ・ 臨床研修医の入会促進

臨床研修指定病院の臨床研修医への入会について、文書により依頼しました。3月末現在で704名(うち、新たに398名)の先生方にC会員としてご入会いただきました。

## (医療従事者対策)

### ・ 医療従事者対策

- 1) 医療関連職検討委員会において、各看護学校より入学・卒業、准看護師資格取得状況等が報告され、問題点等を検討いたしました。また、愛知県下にて准看護師養成所の学生募集が円滑に行えるよう検討いたしました。
- 2) 医療事務員講習会を4、5、6月に開催し、全15日間、30講座を行いました。7月には資格認定試験を行い、45名が受験し44名が合格いたしました。

### <医療秘書学院>

- 1) 平成27年度よりあいちビジネス専門学校(全日制)「医療秘書科」へ運営を委託しており、令和元年度より同校「診療情報管理士科」へ追加委託をいたしました。令和5年度は医療秘書科47名、診療情報管理士科31名、合計78名が入学いたしました。
- 2) 10月31日(火)にあいちビジネス専門学校にて、第27回医療保険請求事務実技試験が行われ、66名が合格いたしました。
- 3) 2月4日(日)にあいちビジネス専門学校にて、第44回日本医師会医療秘書認定試験が行われ、66名が合格いたしました。
- 4) 医療秘書科42名、診療情報管理士科32名が医療秘書課程を修了しました。3月12日(火)にはあいちビジネス専門学校の卒業式が行われ、医療秘書科42名が卒業しました。

## (16) 会務運営・総務・財務

### ・ DX推進プロジェクトチーム会議

- 1) 本会におけるDXを推進し、業務の効率化を図るため、7月27日(木)開催の第13回(定例)理事会における承認をもって、「DX推進プロジェクトチーム会議」を会内に設置いたしました。
- 2) DX推進プロジェクトチーム会議では、本会業務において導入の効果が高いと考えられるDXシステムについて協議・検討を行い、今年度事業として、決裁書類の電子化及びペーパーレス化を目的とした電子決裁システム(X-point Cloud)の導入を決定し、1月より運用を開始いたしました。

### ・ 会館整備

- 1) 本会館において、8月に消防点検を実施し、非常放送や火災感知器等の消火設備の動作確認を行いました。また、定期点検も各法に基づいて適正に実施いたしました。
- 2) 本会館において、8月に特定建築物の定期検査を実施し、特に指摘箇所はありませんでした。
- 3) 仮事務所において、12月に消防点検を実施し、非常放送や火災感知器等の消火設備の動作確認を行いました。また、定期点検も各法に基づいて適正に実施いたしました。

### ・ 会館建設委員会

- 1) 4月24日(月)に第9回を開催し、6月17日(土)開催の第194回(定例)代議員会に上程する借入限度額について検討を行い、借入限度額：16億円、借入先：愛知県医師信用組合、利率：1%(固定金利・元金均等返済)、借入時期：令和7年4月(予定)、借入期間：30年又は35年等が了承されました。なお、今後引き続き代議員会開催までの間、建設価格について注視していくことといたしました。

- 2) 11月13日(月)に第10回を開催し、仮事務所の改修工事、配置図等、駐車場、救急医療情報センター電話案内の一時休止及び事務職員の土曜日直の対応について報告いたしました。また、佐藤工業株式会社を愛知県医師会館建替工事の施工業者として理事会において承認するまでの経緯を報告いたしました。今後、会館建替に関する寄附金の募集については、提案等を参考に方向性を決め、寄附のお願いをすることといたしました。
- 3) 2月5日(月)に第11回を開催し、愛知県医師会館建替計画の進捗状況として、建設業者選定から決定、日建設計との契約、仮事務所への引越し及び改修工事等、仮事務所使用転貸借契約、救急医療情報センターにかかる関連事項、愛知県及び名古屋市の補助金等及びアスベスト調査結果について報告いたしました。また、各委員より会員への寄附金募集について提案・要望等がなされ、今後改めて検討することといたしました。

#### ・ 会館建設小委員会

- 1) 建設業者の選定は、指名による見積合わせ方式で行い、日建設計が見積内容を精査した上で決定すること、見積参加意思があった建設業者に対し見積説明会を開催することなどを協議いたしました。なお、建設業者13社中5社に見積依頼し、2社が途中辞退となり、3社による見積合わせとなりました。
- 2) 実施設計において、意匠、構造、電気設備、機械設備及び隔地駐車場等を協議いたしました。
- 3) 仮事務所の使用貸借契約並びに仮事務所内に事務所を置く各団体との使用転貸借契約、仮事務所先への引越し及び引越しに伴う休業日等を協議いたしました。また、本会事務局は10月27日(金)から31日(火)までの臨時休業中に引越し作業が無事に終了し、救急医療情報センターは12月18日(月)・19日(火)の2日間で引越し作業を行いました。特に19日(火)の午前10時から午後4時までの約6時間医療機関電話案内が一時休止しましたが、愛知県が事前周知を行っていたためトラブルもなく、無事に終了したことを報告いたしました。
- 4) 仮事務所先の配置、執務室を中心とした電話・電気設備(電話回線引込等)、衛生設備(ウォシュレット設置等)、空調設備(エアコン設置)、公用車用ガレージ、看板等の設置並びに改修等を協議いたしました。
- 5) 9月25日(月)に建設業者3社から提出された見積書において、疑義が生じた部分の質疑を日建設計が行い、修正された再見積書により比較検討を行った結果、佐藤工業(株)が最安値だったため、施工業者にすることを決定いたしました。また、現場事務所は県医師会館北隣の「栄オークリッジビル」5階となりました。
- 6) 12月28日(木)に建築設計業務契約について協議を行い、建築確認申請が令和6年5月頃になるため、設計業務期間の延長となるが業務報酬額の変更はせずに事業年度毎に支払いを分けることといたしました。新築工事意図伝達・監理業務契約は、今回提示された見積額が当初の参考見積時より増額しているが、工期延長及び国土交通省の業務報酬単価の引き上げに伴う人件費の増額によるもののため、今回提示された見積金額で契約を交わすことを併せて協議いたしました。また、本会館の解体工事のうち、7階の救急医療情報センター部分の解体工事の費用負担に関して令和5年度解体工事に係る協定書を愛知県と締結することを協議いたしました。
- 7) 令和5年12月にアスベスト調査を行った結果、天井の石膏ボード、廊下の塩ビシート、接着剤等から想定より多く検出され、当初の契約の中に見込んでいたアスベスト除去費用を超えたため、超えた費用部分を追加工事として契約を交わすことを協議いたしました。

8) 1月11日(木)から18日(木)にかけて実施されたボーリング調査の結果、前回調査した昭和54年当時の情報を基に計画していた17本の杭の長さ(約30m)では、支持層に届いていないことが判明し、杭の長さを1.5m程延長させるため、追加費用が発生することを協議いたしました。

- 会館運営

日常における法定清掃を適正に行い、会館の維持管理に努めました。また、会館管理規程に則り、適正な会館運営をいたしました。(別表7参照)

(17) その他

## 会 員 数 〈 別 表 1 〉

令和6年3月31日現在の本会会員数は10,819名で県下医師会別は下表の通りであります。

区 分	会 員 数(名)
名 古 屋 市	4,079
一 宮 市	734
瀬 戸 旭	268
半 田 市	155
春 日 井 市	354
津 島 市	110
小 牧 市	133
東 海 市	114
岩 倉 市	48
東 名 古 屋	249
西 名 古 屋	183
尾 北	293
稲 沢 市	150
海 部	314
知 多 郡	307
豊 橋 市	504
岡 崎 市	502
豊 川 市	209
碧 南 市	54
刈 谷	316
豊 田 加 茂	563
蒲 郡 市	79
安 城 市	240
西 尾 市	124
北 設 楽 郡	6
新 城 市	39
田 原 市	51
名 古 屋 大 学	134
名 古 屋 市 立 大 学	154
藤 田 医 科 大 学	192
愛 知 医 科 大 学	161
合 計	10,819

## 物故会員〈別表2〉

(令和5年4月～令和6年3月届出分)

氏名	年齢	地区	死亡年月日
渡辺一弘様	84歳	名古屋市	R5.1.3
塩之谷昌様	89歳	豊橋市	R5.1.23
宮木幸彦様	85歳	田原市	R5.2.15
片野昌子様	94歳	刈谷	R5.2.25
並木祥代様	72歳	名古屋市	R5.2.28
伊藤寛様	75歳	豊田加茂	R5.3.7
藤堂三男様	82歳	新城市	R5.3.13
吉田正義様	84歳	一宮市	R5.3.21
小川正道様	88歳	名古屋市	R5.3.30
宗田英幸様	69歳	刈谷	R5.4.5
梶間敏彦様	69歳	尾北	R5.4.11
杉浦允彦様	82歳	豊橋市	R5.4.15
今泉明様	74歳	新城市	R5.4.20
藤田真苗様	80歳	半田市	R5.4.21
牧貴子様	78歳	名古屋市	R5.4.21
竹内直道様	100歳	名古屋市	R5.4.24
辻克人様	75歳	知多郡	R5.5.11
中西綾子様	91歳	岡崎市	R5.5.14
坂本克己様	91歳	小牧市	R5.5.30
三木洋様	81歳	名古屋市	R5.5.30
山本義樹様	79歳	豊橋市	R5.6.6
大橋克彦様	95歳	名古屋市	R5.6.8
酒井泰彦様	69歳	名古屋市	R5.6.12
請井伸行様	74歳	名古屋市	R5.6.19
重富亮様	70歳	名古屋市	R5.6.24
別府徹夫様	96歳	岡崎市	R5.6.25
都築雅人様	73歳	安城市	R5.6.27
加藤克己様	93歳	愛知医科大学	R5.6.29
竹下健也様	67歳	名古屋市	R5.7.10
畑中弘様	93歳	瀬戸旭	R5.7.13



氏 名	年 齢	地 区	死亡年月日
小 串 雅 昭 様	86 歳	名 古 屋 市	R5. 7. 30
猪 飼 道 彦 様	83 歳	海 部	R5. 8. 2
杉 原 英 一 様	95 歳	稲 沢 市	R5. 8. 9
菅 正 隆 様	83 歳	岡 崎 市	R5. 9. 10
岸 龍 彦 様	57 歳	一 宮 市	R5. 5. 31
河 野 親 夫 様	91 歳	名 古 屋 市	R5. 7. 12
加 島 喜 代 子 様	97 歳	名 古 屋 市	R5. 7. 30
後 藤 敦 子 様	60 歳	名 古 屋 市	R5. 7. 31
山 崎 親 雄 様	79 歳	名 古 屋 市	R5. 8. 1
神 原 克 臣 様	93 歳	名 古 屋 市	R5. 8. 8
川 瀬 光 様	75 歳	名 古 屋 市	R5. 8. 27
吉 田 國 二 様	89 歳	名 古 屋 市	R5. 9. 4
土 井 淳 愛 様	90 歳	小 牧 市	R5. 9. 10
日 野 篤 様	48 歳	一 宮 市	R5. 9. 14
橋 本 紘 様	81 歳	岡 崎 市	R5. 9. 15
市 川 雅 祥 様	69 歳	豊 橋 市	R5. 9. 15
石 川 英 子 様	92 歳	名 古 屋 市	R5. 9. 20
宗 瑞 照 様	97 歳	名 古 屋 市	R5. 10. 11
篠 塚 怜 衣 様	38 歳	名 古 屋 市	R5. 10. 13
勝 又 一 夫 様	90 歳	名 古 屋 市	R5. 10. 17
笥 香 代 子 様	97 歳	名 古 屋 市	R5. 10. 18
西 塚 マチエ 様	97 歳	名 古 屋 市	R5. 11. 3
今 村 文 也 様	94 歳	豊 橋 市	R5. 11. 7
澁 谷 嘉 之 様	72 歳	名 古 屋 市	R5. 11. 10
杉 野 修 造 様	92 歳	名 古 屋 市	R5. 11. 16
山 田 猛 様	78 歳	尾 北	R5. 11. 16
中 村 俊 郎 様	84 歳	名 古 屋 市	R5. 11. 27
金 野 浩 二 様	70 歳	岡 崎 市	R5. 11. 27
横 井 眞 様	90 歳	名 古 屋 市	R5. 11. 30
中 尾 八 重 子 様	94 歳	尾 北	R5. 12. 15
板 津 義 昭 様	84 歳	尾 北	R5. 12. 17
水 野 澄 子 様	96 歳	知 多 郡	R5. 12. 19
中 澤 三 郎 様	90 歳	一 宮 市	R5. 12. 20
服 部 浩 士 様	83 歳	海 部	R5. 12. 26
茶 谷 勲 様	89 歳	半 田 市	R6. 1. 1
近 藤 隆 様	89 歳	名 古 屋 市	R6. 1. 11

氏 名	年 齡	地 区	死亡年月日
藤 井 了 様	68 歳	名 古 屋 市	R6. 1. 12
水 野 勝 之 様	82 歳	東 名 古 屋	R6. 1. 14
中 川 浩 様	67 歳	岩 倉 市	R6. 1. 25
青 山 滋 様	74 歳	豊 田 加 茂	R6. 1. 26
岡 田 達 郎 様	90 歳	豊 川 市	R6. 2. 8
松 下 洋 一 様	91 歳	瀬 戸 旭	R6. 2. 10
篠 田 廣 様	79 歳	津 島 市	R6. 2. 26

以上73名

日本医師会生涯教育講座〈別表3〉

【産婦人科】	
日時	令和5年6月24日(土)14:30~17:30
会場	愛知県医師会館 9階大講堂
共催	愛知県産婦人科医会
司会	愛知県産婦人科医会理事 村上 勇
報告	最近の偶発事例について 愛知県医師会 医療安全対策委員会における 2022年7月~2023年3月の検討事例
講師	愛知県産婦人科医会監事 (医)豊田会刈谷豊田総合病院顧問 山本 真一
座長	愛知県産婦人科医会理事 鈴木 伸宏
演題1	アナフィラキシーに対する対応 ~ガイドラインと周術期アナフィラキシーの疫学的調査の解説~
講師	岡崎市民病院麻酔科部長 名古屋市立大学大学院医学研究科麻酔科学・集中治療医学分野研究員 辻 達也
座長	愛知県産婦人科医会理事 関谷 隆夫
演題2	コロナウイルス感染症2019を経験して ~経緯と問題点、そして今後の課題~
講師	藤田医科大学医学部産婦人科学講師 森山 佳則 参加者88名

【外科】	
日時	令和5年8月3日(木)14:00~16:00
会場	愛知県医師会館 9階大講堂
共催	愛知県外科医会
司会	愛知県外科医会常任理事 河野 弘
座長	愛知県外科医会副会長 松崎 安孝
演題1	皆さんに知ってもらいたい低侵襲カテーテル心臓治療の最前線
講師	豊橋/名古屋/岐阜ハートセンター循環器内科部長 山本 真功
座長	愛知県外科医会副会長 細野 二郎
演題2	胸腔鏡下心臓手術
講師	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 心臓血管外科第一部長 伊藤 敏明 参加者27名

【眼科】	
日時	令和5年8月26日(土) 15:00~18:00
会場	愛知県医師会館 9階大講堂
共催	愛知県眼科医会
司会	愛知県眼科医会理事 杉田 威一郎
演題1	新しい緑内障検査機器
講師	愛知医科大学近視進行抑制寄附講座・教授(特任)眼科学講座(兼務) 愛知医科大学眼科クリニックMiRAI・クリニック長 三木 篤也
演題2	弱視と乳幼児健診
講師	福島県立医科大学眼科学講座講師 森 隆史
演題3	硝子体手術Cutting edge
講師	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科眼科・視覚科学分野教授 北岡 隆
参加者125名	

【内科】	
日時	令和5年9月2日(土) 14:00~16:00
会場	愛知県医師会館 9階大講堂
共催	愛知県内科医会
司会	愛知県医師会生涯教育委員会委員長 愛知県内科医会会長 安藤 忠夫
演題1	慢性腎臓病におけるSGLT2阻害薬の意義
講師	名古屋市立大学大学院医学研究科腎臓内科分野主任教授 濱野 高行
演題2	知っておきたいパーキンソン病診療のコツ
講師	愛知医科大学病院パーキンソン病総合治療センター特任教授 齋木 英賢
参加者66名	

【耳鼻咽喉科】	
日時	令和5年10月21日(土) 16:00~18:00
会場	栄ガスビル 栄ガスホール
共催	愛知県耳鼻咽喉科医会
司会	愛知県耳鼻咽喉科医会理事 浅田 貴康
座長	愛知県耳鼻咽喉科医会理事 浅田 貴康
演題1	扁桃病巣疾患診療の手引き
講師	旭川医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科講師 頭頸部癌先端的診断・治療学講座 特任准教授 高原 幹
座長	愛知県耳鼻咽喉科医会理事 星野 通隆
演題2	AMR対策・耳鼻咽喉科領域感染症に対する漢方薬の使い方
講師	まえだ耳鼻咽喉科クリニック 前田 稔彦
参加者33名	

【泌尿器科】	
日時	令和5年10月28日(土)16:30~18:30
会場	ウインクあいち 11階1101会議室
共催	愛知県泌尿器科医会
司会	愛知県医師会生涯教育委員会委員 小島 宗門
座長	愛知県医師会生涯教育委員会委員 小島 宗門
演題1	尿路結石診療の最新の話題—尿路結石症診療ガイドライン改訂と保険収載から—
講師	名古屋市立大学大学院医学研究科腎・泌尿器科学分野教授 安井 孝周
座長	愛知県医師会生涯教育委員会委員 小島 宗門
演題2	腎癌をどう治療するか?—免疫治療とロボット手術の役割—
講師	愛知医科大学医学部泌尿器科教授 佐々 直人
参加者40名	

【精神科】	
日時	令和5年11月4日(木)14:00~15:30
会場	栄ガスビル クイーンルーム
共催	愛知県精神科医会・愛知県精神科病院協会・愛知精神神経科診療所協会
司会	愛知県医師会生涯教育委員会委員 村瀬 聡美
演題	診療や生活の中で活用できる認知行動アプローチ —ご自身のストレスマネジメントと認知行動療法の理解促進のために—
講師	南山大学人文学部心理人間学科教授/南山大学保健センターセンター長 中野 有美
参加者13名	

【小児科】	
日時	令和5年11月26日(日)14:30~17:00
会場	名古屋市医師会館 6階講堂
共催	愛知県小児科医会
司会	愛知県小児科医会研修委員会委員 長井 典子
演題1	『発達障害グレーゾーン』は深刻な社会参加阻害のリスク因子
講師	信州大学医学部子ども心の発達医学教室教授 本田 秀夫
演題2	より安全・安心な予防接種を目指して—予防接種ストレス関連反応(ISRR)について—
講師	川崎市健康安全研究所所長 岡部 信彦
参加者70名	

愛知県医師会健康教育講座〈別表4〉

回数	開催日	テーマ	講師	参加者数
955	5月1日	関節リウマチと手の話	名古屋市立大学整形外科 助教 川口 洋平	91
956	5月31日	どうする尿路結石 ～痛みへの対処から レーザー治療まで～	名古屋大学泌尿器科 病院講師 石田 昇平	73
957	6月13日	さあ今だ！はばたこう！かゆみの鎖につな がれたアトピーの子たちへ	春日井市民病院皮膚科 主任部長 古橋 卓也	47
958	7月5日	性教育について	咲江レディスクリニック 院長 丹羽 咲江	45
※959	7月8日	第9回豊橋市CKD市民公開講座 大切にしよう！あなたの腎臓	豊橋市民病院腎臓内科 副部長兼血液浄化センター長 渡邊 智治 始め3名	80
※960	7月25日	子宮頸がん予防についての正しい理解のた めに	医療法人清風会岡村産科婦人科 理事長・院長 岡村 誠	33
※961	8月1日	HPVワクチンと子宮頸がん検診に関する最 近の話題 (動画配信のみ)	藤田医科大学岡崎医療センター 副院長 藤井 多久磨	
※962	8月24日	子どもの食物アレルギー (動画配信のみ)	あいち小児保健医療総合センター センター長 伊藤 浩明	
963	8月30日	がんと心血管病ーがん診療に求められるも う一つの対策	三重大学大学院医学系研究科 基礎系講座分子生理学分野 教授 坂東 泰子	70
964	9月29日	快眠の科学について	藤田医科大学医学部 精神神経科学講座 客員講師 廣瀬 真里奈	88
965	10月5日	熱性けいれんって何？てんかんって何？	名古屋大学大学院医学系研究科 障害児(者)医療学寄附講座 特任教授 夏目 淳	61
※966	10月9日	豊田地域医療センター 市民公開講座「ア レルギーセンター オープン記念講演会」	近畿大学病院 病院長 東田 有智 始め3名	219
※967	11月4日	ロコモ健康教室 健康教育講座「ウィズコ ロナからアフターコロナの健康づくり」	医療法人桂名会 大須病院 リハビリテーション科 主任 山野井 順矢	25
※968	11月23日	毎日を健康に過ごしましょう～感染症との 上手な付き合いかた～	医療法人メファ仁愛会 マイファミリークリニック蒲郡 理事長・院長 中山 久仁子	92
969	11月30日	肝臓のがんについてもっと知ろう！	名古屋掖済会病院 副院長 加藤 祐一郎	72

回数	開催日	テーマ	講師	参加者数
970	12月19日	乳癌の最新の診断と治療について	名古屋大学大学院医学系研究科 病態外科学講座 乳腺・内分泌外科学 教授 増田 慎三	47
971	2月1日	緑内障ってどんな病気？	名古屋大学 医学部医学科・大学院医学系 研究科 眼科学・感覚器障害制御教室 准教授 結城 賢弥	98
※972	2月4日	岡崎市医師会 健康教育講座「骨粗鬆症」	藤田医科大学 医学部 客員教授 田中 郁子	54
※973	2月17日	健康は健口から	藤田医科大学医学部 歯科・口腔外科学講座 教授 吉田 光由	155
974	2月20日	皆さんにお知らせしたい心臓病の色んな話	名古屋ハートセンター 循環器内科 部長 山本 真功	87
975	3月7日	高齢者のめまい：原因と対策	名古屋市立大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座 教授 岩崎 真一	92
※976	3月31日	岡崎市医師会 健康教育講座「ゲノムから見た乳がん診療」	岡崎市民病院 がんセンター長、ゲノム医療 センター長 乳腺外科 村田 透	39

※印は地域開催

難病相談室取扱いケース内容〈別表5〉

ケース数		神経	耳鼻	眼	膠原病	皮膚	骨・関節	腎臓	循環器	消化器
	新規ケース	211	20	25	82	22	61	19	19	135
	継続ケース	305	32	60	138	37	52	20	35	184
	計	516	52	85	220	59	113	39	54	319
		呼吸器	内分泌 及び代謝	脳外科	血液	小児	心身	血管外科	その他	合計
	新規ケース	20	29	16	21	7	23	2	88	800
	継続ケース	19	43	34	46	12	49	2	26	1,094
計	39	72	50	67	19	72	4	114	1,894	

取 扱 い 内 容	アセスメント(重複)	
	疾病の背景要因の発見	94
	治療や療養生活への適応	1,325
	家族との関係や家族の生活	100
	住居などの社会生活	60
	就労支援	229
	医療・生活などの経済面	319
	社会復帰への受入れと適応	170
	医療機関利用	260
	その他	19
合計	2,576	
主なケースワーク措置		
応急的援助	3	
背景調査	2	
相談面接	990	
関係調整	737	
制度利用	122	
施設利用	24	
グループワーク	15	
その他	1	
合計	1,894	

新規 ケース 紹介者	医療機関	58
	保健所・保健センター	58
	福祉事務所	4
	その他公的機関	85
	本人又は家族	164
	広報・ポスター等	294
	新聞・ラジオ・テレビ	1
	その他	136
合計	800	



## 生命保険団体取扱状況調〈別表6〉

(令和6年3月末現在)

会 社 名	契約人数	契約件数	月掛保険料
日 本 生 命	人 105	件 154	円 16,660,512
ジ ブ ラ ル タ 生 命	15	23	1,466,841
第 一 生 命	53	96	4,722,393
朝 日 生 命	21	34	1,295,417
明 治 安 田 生 命	47	63	3,319,522
大 樹 生 命	81	109	6,247,924
住 友 生 命	26	33	1,788,020
合 計	348	512	35,500,629

会館会議室等使用状況〈別表7〉

	会 場 名	件 数
本会館（4月～10月）	B 1 講 堂	0
	4 F 理 事 会 議 室	38
	5 F 501 会 議 室	35
	6 F 601 会 議 室	23
	6 F 研 修 室	41
	7 F 情 報 セ ン タ ー 研 修 室	4
	8 F 801 会 議 室	35
	8 F 802 会 議 室	46
	8 F 803 会 議 室	31
	8 F 804 会 議 室	73
	8 F 805 会 議 室	16
	8 F 応 接 室	3
	9 F 大 講 堂	93
		小 計
仮事務所（11月～3月）	2 F 理 事 会 議 室	16
	3 F 医 師 信 役 員 室	13
	3 F 研 修 室	1
	4 F 401 会 議 室	42
	4 F 402 会 議 室	22
	4 F 403 会 議 室	8
	4 F 404 会 議 室	11
	4 F 405 会 議 室	14
	5 F 501 会 議 室	12
	5 F 502 会 議 室	0
	5 F 503 会 議 室	0
	小 計	139
	合 計	577

## 決議

政府はこれまで経済合理性の中で医療費を抑制し、医療の余力を省みなかった。突然のコロナ禍において、医療機関は余力不足の中で地域医療を死守せんと懸命に努力したが、一部で医療崩壊に陥った。医療従事者は疲弊し、離職者も現れ、残された者の労働環境はさらに過酷となった。今後の有事への対応を可能にするには医療従事者確保のための公的人材育成を含めた医療の基礎体力強化が早急に必要である。

一方、現下の光熱費・食費・資材の高騰は、公的価格である診療報酬を収入の大部分とする医療機関の経営を直撃し、至急の財政支援を必要としている。さらに政府は社会全体の賃上げを勧奨し、大企業を中心に賃上げの機運が高まる中、年々増加し八百万人といわれる雇用をかかえる医療・介護業界は価格転嫁ができず、賃上げの原資を確保できていない。

医療は社会的共通資本とされ、医療・介護・障害福祉に従事する人口は膨大であり、旺盛な消費行動が期待されるうえ出産・子育て世代も多く含まれる。それゆえ、その生活を支える原資である診療報酬・介護・障害福祉サービス報酬の大幅な増額なくしては、国家の課題である経済成長、少子化対策も根本的におぼつかない。さらに、賃上げ困難な医療・介護業界から人材が他業に流出すれば、国民全体の社会福祉に深刻な打撃をもたらす。

以上より、我々は国民の健康を守るため下記のごとく決議する。

## 記

- 一、コロナ禍での過酷な状況を鑑み、人材育成を含めて余力のある医療体制を保証せよ。
- 一、物価高騰と医療介護従事者の処遇改善のため、診療報酬・介護報酬と別建ての財政措置を講ぜよ。
- 一、令和六年度のいわゆるトリプル改定に際しては異次元のプラス改定とせよ。

令和5年6月17日

愛知県医師会第194回(定例)代議員会

## 決議

光熱費をはじめとする物価高騰は長引いており、国民の医療・介護・障害福祉に多大な影響を与えている。また、支え手が減少する中での人材確保は不可欠であり、さらに政府から持続的な賃上げが呼び掛けられている。

しかしながら、公定価格により運営される医科歯科医療機関、薬局、介護施設等は、その上昇分を価格に転嫁できない。医療・介護・障害福祉に従事する人口は900万人と膨大であり、旺盛な消費行動が期待されるうえ出産・子育て世代も多く含まれることから、この分野への厚い手当では国民の福祉のみならず日本経済にも資するものである。

国民の生命と健康を守るため、医療・介護・障害福祉分野における物価高騰・賃金上昇に対する取組を進め、国民に適正にしてさらに日進月歩している医療を提供しなければならない。

よって、必要な財源を確保するよう、本協議会の総意として強く要望する。

令和5年11月16日

愛知県国民医療推進協議会

令和5年度事業報告書(令和5年4月～令和6年3月)には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

公益社団法人 愛知県医師会